

ブック

英語学習では、「単語を覚える」ことが重要である。次期学習指導要領では、中高で4千〜5千語程度の単語を

学習することが明記されている。

本書は、第二言語習得研究の知見から、英単語の指導・学習を効果的に行なう方法について紹介している。筆者は、英単語は、低頻度語（多数）、中頻度語（約6千語）、高頻度語（約3千語）に分類でき、高頻度語を最優先して学習すれば、英語全体の94〜95%をカバーできると述べている。

効果的な学習法としては、単語カード等を使用して語彙習得を主目的とする活動の中で学習する「意図的学習」と語彙習得が主目的でない活動の中で偶発的に語彙が習得される「付随的学習」があり、「コミュニケーションを重視する最近の英語教育において「付随的学習」は、文



中田達也 著
1980円 研究社
☎03-3288-7777

英単語学習の科学

脈の中で実際に使用された単語であれば学習者の理解は深く促進されるが、学習できる語彙数が少ないので、「意図的学習」の暗記の方が学習効果・効率ともに高いことを研究結果で示している。この他に、①「テスト効果」では、テストは記憶への定着やより深い理解も促す可能性があること、②「最適内容に関して事前テストをすること、③「最適な学習スケジュール」では、「集中学習」よりも、「分散学習」の方が、間隔の長い学習スケジュールが記憶保持を促進すること等、学習促進や記憶の定着を図るための様々な研究成果を紹介している。直ぐに活用できる「単語の覚え方」についての一例では、「discipline」を「弟子、プリンを食べないようにつける」等、語呂合わせの理論と実践で「文字情報」と「視覚情報」で提案されているのが興味深い。

(愛知教育大学教授・高橋美由紀)